



市では、「誰もが輝いて生きることができる社会の実現」を目指し、第4次上田市男女共同参画計画(うえだカラフルプラン)を策定し各種施策を実施しています。

計画では、特に重要となる分野を「**学び**」「**仕事と生活**」「**安全・安心**」の3つとし、それぞれ基本目標を定めています。各分野に関する市の目標や取組事例を紹介します。



市ホームページ

6月23日～29日は
男女共同参画週間

特集

自分の個性で、
未来を描ける社会を目指して

図 人権共生課 ☎23・524・5



アンコンシャス・バイアス
(無意識の偏見)を
持っていないですか？



アンコンシャス・バイアスとは？
過去の経験や見聞きしたこと、無意識のうちに形成される考え方の傾向のことです。

小学生の通学風景を
見てみましょう

かつては「女子は赤、男子は黒」が当然だったランドセルも、好きな色を自由に選べるようになりました。

その一方で、大人は無意識のうちに「男らしく」「女らしく」と決めつけてしまう場面も少なくありません。

仕事や家事の役割分担、服装など、性別による決めつけが無意識のうちに生活の中に残っていないでしょうか。



特集の内容は
動画でもご覧
いただけます



性別にかかわらず
幸せに暮らせる社会に
向けて

NPO 平塚らいてうの会代表理事
沓掛さん



らいてう講座



らいてうの家(真田町長1278-720)

平塚らいてうの志である「平和」・「女性差別撤廃(男女共同参画)」の実現に向けて活動しています。

男女共同参画の啓発としては、毎年開催する「らいてう講座」を通じて、性別にとられない平等な社会づくりの推進に取り組んでいます。

「男だから」「女だから」ではなく、「人間」として幸せに暮らすことのできる社会の実現に向けて、今後も取り組んでいきます。



長岡春奈さんによる授業

長小学校では毎月「人権学習の日」があり、人権に関する学びを深めています。その一環として、心と体の性別が一致しないトランスジェンダーである長岡春奈さんのお話を聞きました。

授業を通じて、自分の意見や今後の行動を決めるきっかけとなる、大きな学びになったと感じています。



それぞれの個性を
尊重できる未来に向けて

長小学校

宮原先生、6年1組の皆さん



児童の皆さんに授業の感想を聞きました

増田さん

自分の個性が他人に認められずに苦しんでいる人がいたら、優しく接したいと思いました。

杉原さん

人それぞれ個性があつて良いと思いました。いろいろな人の個性を尊重したいと思いました。

石塚さん

人それぞれの個性に寄り添ってあげたいと思いました。個性が原因でつらい思いをしている人がいたら、やさしく話しかけたいと思います。

アンコンシャス・バイアスを
減らす3つのポイント

1 「べき」「普通は…」に注意!

「男性なら残業するべき」「普通は女性なら結婚するものだ」といった言葉が出たら、立ち止まって考えてみましょう。

2 相手の「サイン」を見逃さない

会話中に相手の表情が曇ったりしたことはありませんか?そんな時は、自身の言動を振り返ってみましょう。

3 常に自分に問いかける

常に自身の言動を振り返り、問いかけることが大切です。

アンコンシャス・バイアスを自覚できると

- 相手の考え方や価値観を受け入れ、多様性を尊重できるようになります。
- 組織としてもコミュニケーションが円滑になり、組織のパフォーマンスが向上します。

「男女共同参画社会」って、どんな社会?

性別に関係なく誰もが社会の一員として、自分の意志でどんな活動にも平等に参画できる社会のことです。



基本目標Ⅲ

安全・安心

男女で安全・安心な社会をつくります

- ・DVや性犯罪などの暴力やハラスメントをなくします。
- ・ひとり親や生活困難な状況にある女性などを支援します。
- ・誰もが健康でいきいき活躍できるよう支援します。
- ・防災対策に男女双方の視点を活かします。

性別による身体の違いや
命の大切さを伝えている方の声



イラストや紙芝居などを使って、
分かりやすく説明しています



胎児や新生児と同じ重さの人形を抱っこして
もらい、その重さを実感してもらっています

市内の小・中学校で「いのちの授業」を行っています。
授業では、性別による身体の違いを説明し、お互いを思いやり尊重することの大切さを伝えています。また、胎児と同じ重さの人形や紙芝居を使って、命の芽生えから誕生までの過程を説明し、一人ひとりの命がかげがえのないものであることを伝えています。
授業を受けた児童・生徒からは、「自分の存在の大切さに気づいた」という感想が多く寄せられており、この取り組みの意義を実感しています。
今後も、性別に関係なくお互いを思いやる心と、自他の命を大切にすることを育んでいきたいと考えています。



お互いを思いやり、
自分や周りの人の命を
大切にできるように
助産師



基本目標Ⅱ

仕事と生活

男女がともに活躍する 社会づくりを進めます

- ・政策や方針を決める重要な意思決定の場への女性の参画を進めます。
- ・誰もが働きやすい環境づくりに取り組みます。

誰もが働きやすい環境づくりに
取り組む方の声



家族との時間が
増えました
株式会社宮下組総務部係長
穂苅さん

休日数の増加によって、これまで参加できなかった家族の行事に参加できるようになりました。また、子育てに関する休暇制度によって、子育て中の従業員も働きやすい環境が整っています。
家族と過ごす時間も増え、家庭と仕事の両立ができています。

建設業界は男性が多いため、女性が働く環境の整備について遅れを感じていました。また、人手不足の状況から、女性や若い人の雇用拡大が重要な課題でした。
このため、休日数の増加や「子の看護休暇」の創設、現場事務所への女性更衣室の設置など、誰もが働きやすい環境づくりを行ってきました。
このような環境が特別なことではなく、当たり前になるようにしていきたいです。



誰もが働きやすい
環境を当たり前
株式会社宮下組総務部長
石塚さん

令和6年度 男女共同参画推進事業者表彰

市では、家庭生活・職場・地域などのあらゆる分野で男女が自らの意思によって活動し、能力を発揮できる環境づくりに積極的に取り組んでいる個人や団体を募集し、表彰しています。
令和6年度は、株式会社宮下組が受賞されました。



市ホームページ



表彰の様子は
動画でもご覧
いただけます

評価された取り組み

▼ワークライフバランスの推進

年間休日数を拡大(令和6年度～)
108日→120日

▼子育て支援

時間単位で取得できる「子の看護休暇」を創設

▼不妊治療と仕事の両立

不妊治療に関する休暇を創設

▼育児・介護と仕事の両立

「短時間正社員制度」を創設

▼資格取得支援

建設業に関する資格取得費用を全額補助
(講習費・参考書代・受験代・交通費)

▼社員がいきいき働ける環境づくり

技術面に加え、マインド面(褒め方、叱り方、育成の仕方)に関する研修も実施

▼現場で働く女性のために

現場事務所に女性専用の更衣室・トイレを設置



坂城更埴バイパス工事の女性専用更衣室・トイレ

職場環境の整備や制度の充実により、家庭と仕事
が両立できる体制と風土が醸成されています。

誰もが持っている個性や能力を活かして、自分らしく生きることのできる社会に向け、多くの方々が実際に活動されています。
性別に基づく固定的な考え方やアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)を持つと、自分自身や周りの人の可能性を制限してしまいます。
自分の個性(カラー)を活かし、自由に未来を描ける社会に向けて、一人ひとりができることを考え、実践していきましょう。

一人ひとりの「一歩」が社会を変える

らいてう講座
①

イベントのお知らせ

ジェンダーフリーをすすめる 家庭科教育

家庭科における男女共修の実現は、戦後の教育界において最大の成果でした。これらの歴史を学び、現状と一緒に考えてみませんか。

- 日時 7月19日(土) 13:30～15:30
- 場所 市民プラザ・ゆう
- 講師 富松裕子氏、櫻井幸子氏
- 料金 500円(資料代)

☎ 市民プラザ・ゆう ☎27・2988